

ソバ製粉粕の給与が会津地鶏の育成成績および肉質に及ぼす影響

福島県養鶏試験場 経営部
平成16年度試験研究成績概要集

1 部門名

畜産一鶏一畜産栄養
分類コード 07-04-39000000

2 担当者

矢口弘子・小山有子・岡崎充成

3 要旨

当場で開発した高品質肉用鶏「会津地鶏」「ふくしま赤しゃも」は飼料要求率が高く生産コストが大きいいため、生産者から生産コストの低下を求める声が大きい。本県で会津地方を中心に多く栽培されているソバは製粉する際に残滓（製粉粕）が生じる。そこで会津地鶏へのソバ製粉粕添加給与試験を実施し、地域未利用資源の利用について検討した。

- (1) 出荷時体重は対照区に対し、添加区（10%、20%）で小さい傾向にあった。添加区では飼料摂取量が伸びず、増体に影響したのではないかと考えられる。
- (2) 解体時の正肉歩留まりにおいて♂で対照区が各添加区より優れた（20%添加区との間に1%危険率で有意差あり）。
- (3) 生体1kgあたり飼料費は♀ではほとんど差が見られず、♂では添加区でわずかな低下が見られた。
- (4) 20%添加区のもも肉・肝臓からのソバアレルギーは検出されなかった。
- (5) ムネ肉の抗酸化性を調べた結果、対照区・添加区の差は明らかでなかった。

今後、ソバ製粉粕の増体性を考慮し、添加割合等の検討が必要である。鶏の抗酸化力への作用についてはさらに血液等の分析をおこない、ソバ製粉粕給与による影響を検討する。

4 その他の資料等

なし